

# 令和6年度 都立橋高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」の指導の充実	各科目において「文章を書く」学習活動を取り入れる。 定期的に漢字の小テストを行い、語彙力を養う。	作文や要約、振り返りなど、様々な学習活動を取り入れることで、書くことに対する抵抗感をなくさせるとともに、書ける字数を徐々に増やしていくような指導を行っていく。
公民	主体的な授業の実践	教員がICTを活用し、発表や話し合いの効率化を行う。	生徒がICTを活用できるよう指導する。
数学	基礎学力の定着と向上	1、2年で習熟度別授業を行い基礎計算力の向上を図る。長期休業中は、学期の成績不振者に対して講習を行い次の学期に向けての準備をさせる。	各考査前に勉強会を開き、質問の時間を確保する。考査の答案返却時、振り返り学習を行う。問題解決に向けた自己評価をさせ主体的に取り組む態度を身に付けさせる。
理科	基礎学力の定着	身近な題材を扱い、生徒の興味・関心をひく授業を展開する ICTを活用し、視覚的・感覚的に理解させ、思考力を養う	身近な題材に対して思考し、ICT機器を活用して表現・発表・議論する活動を展開する
体育	体力の向上、生涯にわたる運動や健康に関する知識の習得	活動量を確保しながら主体的に行える授業内容を展開する。段階的な運動や身近な例を取り上げた知識を多く取り入れる。	グループでの学習を多く取り入れ、計画・実践・改善の一連の流れを生徒自らが行う。本校の生徒に即し生活習慣や健康に関わる内容を多く取り入れる。
外国語	英語での表現力の育成	授業にペア・グループワークを活用し、表現する機会を増やす。またJET/ALTを授業に組み込み、促進する。	年に1回、レシテーションコンテストを、年に2回、インタビューテストを行う。
家庭	生活に活かすことのできる学びの充実	実習や作業を取り入れ、動きのある展開	他教科との関わりを意識した授業展開
ビジネス	ビジネスに関する基礎的知識の定着と技能の修得	各科目ごとに指導目標を確認し、生徒の状況を共有しながら適切な指導を進めていく。 演習問題を多用し、知識の定着と技能の修得をはかる。 ビジネスシーンを意識してマナー指導も重視していく。	3年生のマネジメント演習をビジネス科目の総決算に位置付けて実践力を養う。 各科目での基礎力をベースに、各種検定試験の受検機会を設けるとともに、適時補習を実施して上位級取得を目指す。
情報	パーソナルコンピュータを文房具同様に使いこなせるようになる。 情報リテラシーの向上	1年はパーソナルコンピュータに慣れること、タイピング、一部のアプリケーションソフトを使いこなせるようにする 2年は情報の基礎から理論を学び、情報活用能力を身に付ける 3年では、パーソナルコンピュータの発展的な使用方法を学び、情報を科学する	検定等を取り入れ、技術向上を視覚的・体感的に行う。 主体的に取り組むような実習内容を展開し生徒の興味・関心を引き出す。 パーソナルコンピュータのアプリケーションソフトを使いこなせるようにする。
ものづくり	各分野の基礎知識の定着と知識・技術の向上	各分野の課題、指導方法等の確認を行う。 補習を行い、成績不振者への、きめ細かい指導を行う。	2年生の実習選択（ものづくり・伝統工芸）や3年生の授業選択等を含め、主体的に取り組む態度を身に付ける。